

# 令和8年産 麦類技術情報 第2号

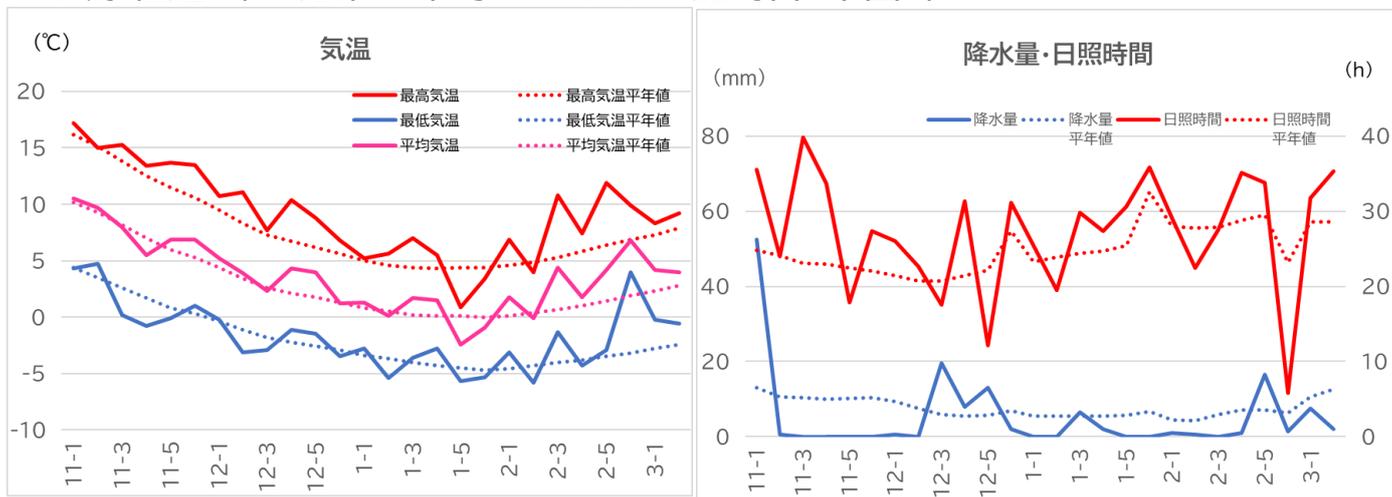
令和8年3月24日 宮城県美里農業改良普及センター

Tel 0229-32-3115 Fax 0229-32-2225

URL <https://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/>



## 1 気象経過 (11月第1半旬～ アメダス鹿島台、下図1)



11月以降、最低気温が低く、降雨量が少ない傾向です。  
2月中旬から、平年に比べ気温が高くなっていますが、降雨量は依然として少なめです。

## 2 生育調査ほ生育概況

表1 小麦生育調査結果

品種	地区	区分	播種日	2月10日		3月20日		幼穂長 (mm)
				草丈 (cm)	莖数 (本/m <sup>2</sup> )	草丈 (cm)	莖数 (本/m <sup>2</sup> )	
シラネコムギ	大崎市 鹿島台	本年値	11/29	5.9	473.5	12.0	1086.1	0.3
		前年比・差	-1	109%	143%	111%	145%	+0.1
夏黄金	涌谷町	本年値	11/11	7.7	291.3	11.5	470.5	0.5
		前年比・差	+6	84%	62%	110%	71%	-0.0
		平年比・差	+10	91%	59%	107%	60%	-0.2

※ シラネコムギはほ場変更のため平年値・差なし。

冬期の低温、少雨により生育が進まず、例年に比べ莖数が少ないほ場が多く、幼穂の生育も遅れています。11月以降の播種では、小麦の幼穂形成期は4月以降となるでしょう。大麦はおおむね幼穂形成期ごろと思われます。

幼穂形成期以降、莖数の増加は見込めないことから、例年以上に、今ある莖数を減らさないよう、湿害などのダメージを与えないことが重要です。排水対策を万全にして生育停滞を防ぎましょう。

生育調査ほでは、夏黄金では平年に比べ莖数が少なくなっています。

シラネコムギは、前年もほぼ同日の播種であり、前年より出芽が早かったことなどから莖数が多くなっています。

## 2 今後の管理について

### (1)排水の見直し

- ・麦の湿害を防ぐだけでなく、麦踏みや追肥等の作業を適期に行うために水はけを良くしましょう。
- ・明きよが施工されていても、深さが足りない、排水路がないなど十分な効果を発揮できないほ場が見られます。右図のように、明きよからほ場外への排水路を確保できているか確認しましょう。
- ・降雨の翌日は確認のチャンスです。明きよのどこに水がたまり、流れていないか見回しましょう。

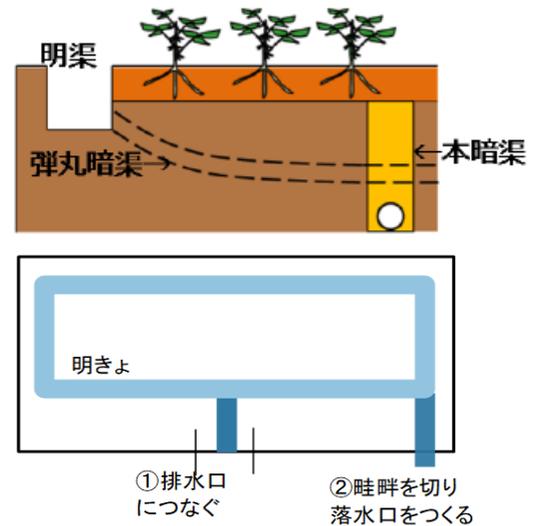


図2:明きよ施工のイメージ図  
(上)深く掘り弾丸暗渠に接続  
(下)排水路の確保

### (2)除草

- ・気温の上昇とともに雑草の発生量が増えてきています。春先に散布できる土壌兼茎葉処理剤、茎葉処理剤はほとんどが幼穂形成期～穂ばらみ期を晩限としますので、条件の良い日に早めに散布しましょう。
- ・イネ科雑草の多くは茎葉処理剤の効果が低いため、発生ほ場を見回り、必ず翌年の作付では土壌処理剤を施用しましょう。

### (3)追肥

- ・小麦は早いほ場では3月末、標準播種であれば4月上旬に幼穂形成期追肥時期となるでしょう。
- ・肉眼で幼穂が見える時期に入っています。表2、3を参考に減数分裂期以降の追肥の準備を行きましょう。

表2 3月30日の幼穂長から見た減数分裂期の予測

品種名	夏黄金		ホワイトファイバー	
	幼穂長	1mm	3mm	1.5mm
減数分裂期	5/1	4/23	4/28	4/23

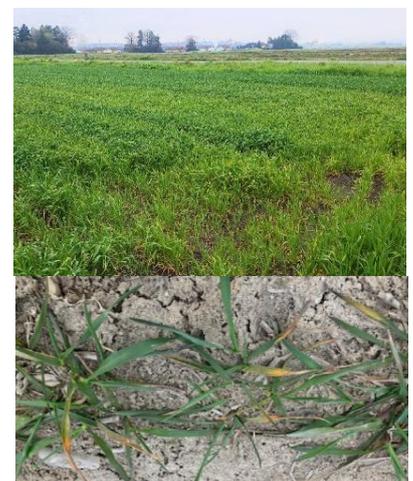
※宮城県麦類生育ステージ予測シートVer4.0を基に、4月17日までは気象庁1ヶ月予報(3月19日発表)並み、その後は過去5年平年値並みの気温で推移するものとして予測したもの。☒

### ~~麦作ワンポイント~~

昨年、管内では、連作ほ場を中心に酸性障害が多く見られました。pHが適正なほ場では3月以降気温の上昇とともに急激に茎数が増加しますが、酸性障害のほ場では下葉の黄化や分けつの抑制など、生育の鈍化が目立つようになります。根は短く、少なく、重症の場合褐変します。

酸性障害症状が見られた作での有効な対策は難しいですが、来作前に土壌分析を行い、石灰質資材を投入することなどで、次作に向けて改善を図ることができます。

普及センターでpHや塩基バランスを測定する土壌分析を行っていますので、お問い合わせください。(測定には通常2~3週間かかります。)



pH5.0前後の小麦ほ場での酸性障害

・小麦では出穂期以降も窒素を必要としますが、管内では減数分裂期までの追肥が慣行となっています。「シラネコムギ」では、減数分裂期に窒素成分で8～9kg/10aの追肥を行うことで、標準追肥体系と同等の収量・品質を確保することができます(普及に移す技術第83号)。

・緩効性窒素を含む肥料を幼穂形成期～減数分裂期に施用することにより登熟期に窒素を与えることも可能です。資材により肥効が異なりますので、成分をご確認の上ご使用ください。

表3 麦類標準追肥体系

施用時期 栽培品種 肥料形態		3月中～4月上旬 幼穂形成期追肥	4月中～下旬 減数分裂期追肥	5月上～中旬 穂揃期追肥
		<幼穂長2～3mm> 【穂数増加】	小麦<幼穂長2～5cm> 大麦<幼穂長2～3cm> 【一穂粒数増加】	<80～90%が出穂> 【千粒重, タンパク含量向上】
シラネコムギ	窒素成分量	2.5kg/10a	5kg/10a	2.5kg/10a
	肥料現物量	5.5kg/10a(尿素)	11kg/10a(尿素)	5.5kg/10a(尿素)
		12kg/10a(硫安)	24kg/10a(硫安)	12kg/10a(硫安)
夏黄金	窒素成分量	2.5kg/10a	5kg/10a	5kg/10a
	肥料現物量	5.5kg/10a(尿素)	11kg/10a(尿素)	11kg/10a(尿素)
		12kg/10a(硫安)	24kg/10a(硫安)	24kg/10a(硫安)
ホワイトファイバー	窒素成分量	2.5kg/10a	2.5kg/10a (5kg/10a)	—
	肥料現物量	5.5kg/10a(尿素)	5.5kg/10a(尿素)	—
		12kg/10a(硫安)	12kg/10a(硫安)	—

※ 資材選択は例。

※ ホワイトファイバーの減数分裂期追肥では、葉色が41未満(SPAD値)の場合は5kg/10aを追肥する。

## 農作業安全確認運動展開中 令和8年3月1日から6月30日まで

宮城県 農作業安全確認運動スローガン  
【徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策】

忙しい中でもご安全に！

シートベルト・ヘルメットの着用を徹底！



●乗るときは  
安全フレームを立てる！

●危険個所では  
減速・迂回を！

全国農作業安全確認運動  
農林水産省